

| | | | |
|--------------|--|-----------------|-----------|
| 講義コード | | 科目区分 | 専門教育科目 |
| (フリガナ) | ケイエイカンリロン | (フリガナ) | アラカワ ケンイチ |
| 授業科目名 | 経営管理論⑩ | 担当教員名 | 荒川 憲一 |
| 英文授業科目名 | Business Management | | |
| 基準年次(開講期) | 2年(後期) | 履修形態 | 選択 |
| 曜日/ 時限/ 講義室 | 木 5限/ 池袋 | | |
| 授業の方法 | 講義 | 授業の方法 (詳細情報) | 講義 |
| 単位 | 2 | 週時間 | 2 |
| 授業のキーワード | イノベーション、活力、組織構造、個人と集団、計画、リーダーシップ、統合、バランス、 | | |
| 授業概要・目的 | 経営管理の概要について知り、理論と事例研究とを併行しながら、各学生が経営の現場に進出した時の様々な課題に対応できるようになることを目的とする。 | | |
| 到達度評価の評価項目 | 経営管理論の考え方の基礎的なものを身に付ける。 経営管理の理論を実際の具体的な問題に関連付け、批判的に検討できる。 経営の現場での様々な問題の原因と対策を論理的に説明できる。 | | |
| 第1回 | ガイダンス。オリエンテーション 授業の進め方。経営管理論を学ぶ意義 | | |
| 第2回 | 経営管理と組織(1) 組織構造の合理性と官僚制 | | |
| 第3回 | 経営管理と組織(2) 事例研究：前川製作所 | | |
| 第4回 | 個人と集団(1) X理論とY理論 | | |
| 第5回 | 個人と集団(2) 事例研究：キリンビール高知支店 | | |
| 第6回 | 経営管理と計画(1) 戦略の策定、情報と兵站 | | |
| 第7回 | 経営管理と計画(2) 事例研究：ミッドウエー作戦 | | |
| 第8回 | リーダーシップ(1) リーダーシップ論 フォロアースhip | | |
| 第9回 | リーダーシップ(2) 事例研究：人を動かすリーダーシップ(ボーンゲンザップ将軍など) | | |
| 第10回 | リーダーシップ(3) 事例研究一八甲田山死の彷徨(映像を使用しわかりやすく) | | |
| 第11回 | 経営管理と統合力(1) 組織の分化と統合 コンフリクト・マネジメント | | |
| 第12回 | 経営管理と統合力(2) 事例研究： | | |
| 第13回 | 経営管理の複合バランス(1) 状況適応理論 日本的経営 | | |
| 第14回 | 経営管理の複合バランス(2) 事例研究： | | |
| 第15回 | まとめ 経営管理論の趨勢、経営管理論を学ぶものの今後の課題 | | |
| 教科書・参考書等 | 各回、配布資料を用意する。以下、予習・復習にあたる参考図書を紹介する。野中郁次郎『経営管理』(日本経済新聞社、2016年)、岸川善光『ケースブック経営管理要論』(同文館出版、2009年)、 | | |
| 授業で使用する機器等 | 各回配布資料を用意する。ほか、音声、映像教材。 | | |
| 予習・復習へのアドバイス | 各回とも講義内容を確認し、参考文献・資料を読む。 | | |
| 履修上の注意・受講条件等 | 専門教育科目(「経営学概論」)を履修していることが望ましいが、していなくてもかまわない) | | |
| 成績評価の基準等 | 以下2つの観点から評価する 1) 授業に取り組む姿勢(50/100)(小レポートで授業に取り組む姿勢を確認することを含む) 2) 試験(50/100) | | |
| メッセージ | 遅刻厳禁。授業中の飲食禁止。携帯電話の電源は切り、机の上には置かずしめておくこと(各種障害のために携帯電話が必要な場合は申し出ること)。 | | |
| オフィスアワー | | | |

その他